

第2期中期事業計画 (2024~2026年度)

2024年1月24日
正副会長・委員長会議資料

はじめに

コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進む中、日本経済は着実に持ち直してきており、今後さらに、インバウンドの増加や国内投資拡大などにより、より一層の回復が期待されます。一方で、長引く円安、中国経済の下振れリスク、ロシアによるウクライナ侵攻、不安定な中東情勢などによる日本経済および世界経済への影響については、引き続き注視していかなければなりません。

一方、九州においては、TSMCの熊本への進出をはじめとして、半導体関連産業において活発な設備投資が行われています。このチャンスを確実に活かし、「新生シリコンアイランド九州」を実現することは、九州の成長エンジンを育て、九州経済の成長を促進することとどまらず、日本全体の経済成長および経済安全保障にとっても極めて重要な課題です。

また、気候変動は、世界的な食料生産の不安定化をもたらし、世界情勢の不安定化や足元では担い手不足なども加わって、食料安全保障の強化が重要な課題となっています。そして、気候変動の影響により、九州においても毎年のように大規模災害が発生しています。GX推進や農業活性化、災害への対応も重要な課題です。

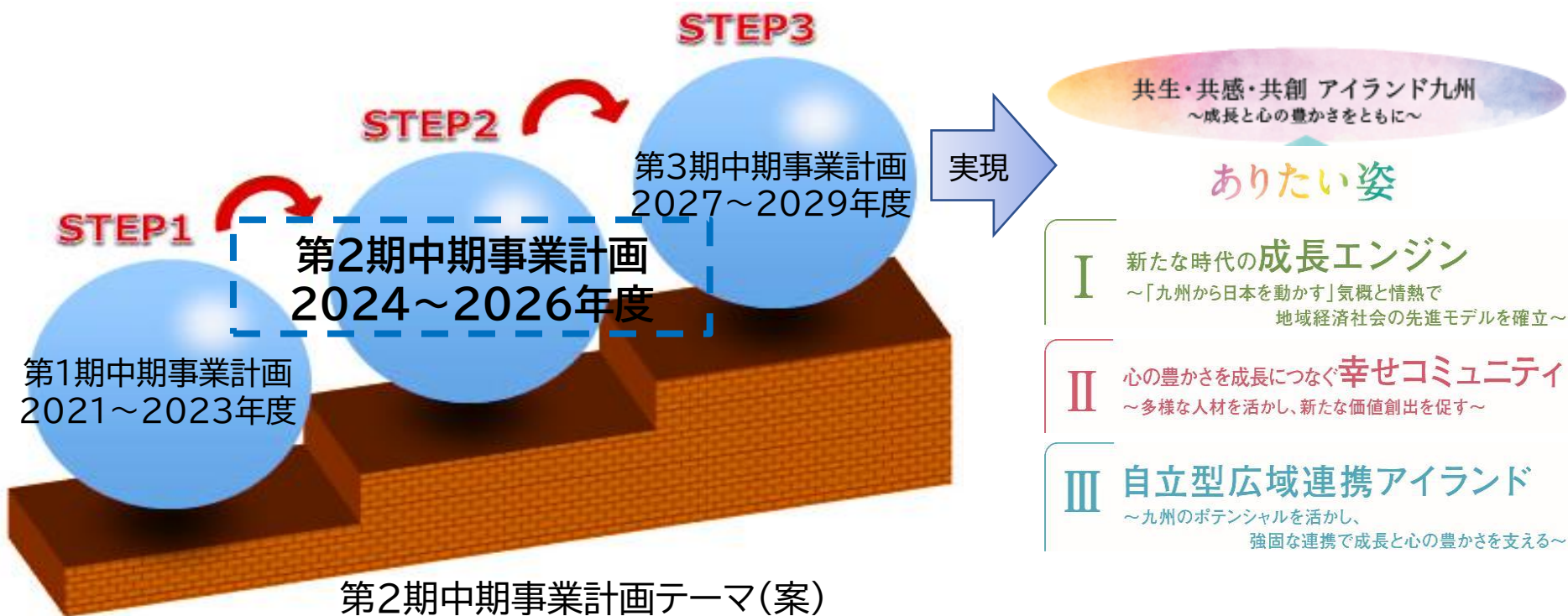
その他にも、地域の公共交通の維持、DX推進による各産業の生産性向上、適正な価格転嫁と賃上げによる成長と分配の好循環の実現、多様な人材の確保など、私たちは多くの課題に取り組んでいかなければなりません。

このような環境認識と課題認識を踏まえ、また、地域の課題についても反映して、将来ビジョン2030実現に向けての第2ステップとなる第2期中期事業計画(2024年度～2026年度)を策定しました。

幸いなことに、九州には、従前から半導体関連産業が一定程度集積していることや農業生産が盛んであること、クリーンで安価なエネルギーに恵まれていることなど、多くの強みがあります。それらの強みを十分に活かしながら、様々な課題を解決し、九州将来ビジョン2030に描いた3つのありたい姿「新たな時代の成長エンジン」「心の豊かさを成長につなぐ幸せコミュニティ」「自立型広域連携アイランド」を実現して九州を元気にし、九州から日本を元気にしていけるよう、取り組んでまいります。

第2期中期事業計画の位置付け・テーマ

第2期中期事業計画(計画期間:2024～2026年度)を九州将来ビジョン2030実現に向けての第2ステップと位置付け、「九州から日本を動かす」新たな価値の創出～地域の声を活かした飛躍に向けての挑戦」をテーマに取り組む。



第2期中期事業計画テーマ(案)

“九州から日本を動かす”新たな価値の創出

～地域の声を活かした飛躍に向けての挑戦

第1期中期事業計画テーマ

“九州から日本を動かす”新たな価値の創出

【参考】九州将来ビジョン2030



ありがたい姿

I 新たな時代の成長エンジン

～「九州から日本を動かす」気概と情熱で地域経済社会の先進モデルを確立～

取り巻く環境が大きく変わる中、九州はその強みを活かして所得の向上と雇用拡大を回り、全国水準を上回るGDPを実現し、アジア諸地域をはじめ世界に対して競争力を高めながら豊かな社会の実現に寄与する新時代の地域経済社会の先進モデルを確立し、持続可能な成長を続ける。

II 心の豊かさを成長につなぐ幸せコミュニティ

～多様な人材を活かし、新たな価値創出を促す～

ますます加速する少子高齢化やグローバル化する社会において、多様な人々が幸せを感じながら活躍できる持続可能な環境を創ることは必要不可欠である。SDGsの理念のもと、九州に集う人々の多様性と包摂性をQOLの向上によって拡充して、人とのつながりの中で社会的課題を解決できる「選ばれる九州」を実現し、新たな価値の創出を促す。

III 自立型広域連携アイランド

～九州のポテンシャルを活かし、強固な連携で成長と心の豊かさを支える～

先進国一カ国に匹敵する人口と経済規模をもつ九州は、地理的条件に恵まれ、他地域と比べ県境を越えて連携力が高い地域である。このような強みをさらに伸ばすために、国とも連携しながら広域的な産学官民一体の体制構築やインフラ整備を行い、九州の自立的運営やエリア内コミュニティの連携を促進し、成長と心の豊かさおよび住民の安心・安全の実現を支える。

【参考】九州将来ビジョン2030 実現に向けた10の課題

課題
1



日本を動かすリーディング産業の育成・誘致

①

将来の九州経済を活性化し、GDPの引き上げや所得水準の向上、さらに雇用拡大を図るため、九州の優位性ある資源やデジタル技術を活かして新たな基幹産業を創出する。

- 具体的な活動
- 1 九州の強みを活かした農林水産業・観光産業の活性化
 - 2 次世代リーディング産業誘致・産業活性化(航空・宇宙、バイオ、医療・医薬、素材、エネルギー等)
 - 3 “グローバル”産業の育成(グローバル産業のグローバル化)
 - 4 DXによる産業構造の刷新・最適化(フィジカル&サイバー2層建て産業構造の構築)
 - 5 産業の価値創出・生産性向上(生産性革命)

課題
2



カーボンニュートラルを先導するエネルギー環境の整備

① ② ③

持続可能な世界屈指のクリーンエネルギー九州を実現するため、再生可能エネルギーの有効活用やそれに資する資金調達などの体制を整備し需要側を含めた環境先進モデルを構築して経済成長に寄与する。

- 具体的な活動
- 6 水素、電化、メタネーション社会への転換
 - 7 エネルギーの「RE+S」を前提としたエネルギー・システム(再生エネルギーの主力電源化・原子力の着実な運用)の追求
 - 8 脱炭素社会の実現に向けた革新的技術の開発・導入活用
 - 9 分散型エネルギー供給モデルの構築
 - 10 ESG投資・グリーン調達の実現に向けた環境整備
- ※2035年エネルギー自給率、経済効果率、環境適合率、安全性

課題
3



生産性向上と新たな価値を生み出す九州イノベーションエコシステムの構築

① ②

絶え間なくイノベーションを生み出し、持続的な産業の活性化を図るため、事業会社とベンチャーによる価値共創、産学の融合等により、域内で自律的かつ連続的にイノベーションを生み出されるシステムを構築する。

- 具体的な活動
- 11 持続的な産業活性化に向けた産学連携
 - 12 企業内ベンチャー・企業間連携イノベーションの創出を促す環境の整備
 - 13 エコシステムの中核となる企業・産業・研究所・大学の集積

課題
4



地理的優位性を活かしたアジアとのシームレス化

① ②

日本の中でアジア諸地域に最も近い九州がビジネスの最適地として世界から選ばれるため、海外とのヒト・モノ・カネ・情報の往来を活発化させるべく、魅力的な国際ビジネス環境の整備に取り組む。

- 具体的な活動
- 14 アジア市場と自由なモノの往来が出来るサプライチェーン構築
 - 15 魅力ある投資環境の整備(国際金融センターや外国企業の日本プランニング誘致等)
 - 16 アジア・世界とつながるデジタル環境の整備

課題
5



新たな時代を担う教育・人材育成

① ②

デジタル化やグローバル化が加速する中で、IT人材、グローバル人材を確保するため、国際競争力ある人材育成メニューの充実や、その人材を受け止める組織インフラ・制度の整備に取り組む。

- 具体的な活動
- 17 世界中の優秀な人材の集積地化に向けた教育機関の整備
 - 18 次世代や世界で通用する人材を育てる教育プログラムの構築(グローバル・STEAM・ICT・社会課題解決などの人材育成・リカレント教育推進)
 - 19 多様な人材の成長を促す人材流動化

課題
6



暮らしやすさ(Quality of Life)と新たな価値の創出

① ②

地域の資産(自然や文化など)の恩恵を享受しつつ、イノベーションによって各人が求める働き方や生き方が実現できる地域モデルを創る。

- 具体的な活動
- 20 医療及び福祉環境の充実(ヘルスナック推進等)
 - 21 MaaSによる地域交通網の最適化
 - 22 自然環境・文化・歴史の価値向上と伝統継承
 - 23 デジタルを活用した働き方のニューノーマル化(リモートワーク、コワーキング、ワーケーション)

課題
7



共助社会を実現するダイバーシティ・インクルージョンコミュニティ形成

②

誰もが属性に捉われずチャレンジして活躍できる社会を目指し、多様な価値観を認め、各人の強みを活かして共助共生しながらともに成長できるコミュニティを形成する。

- 具体的な活動
- 24 誰もが可能性を最大限発揮できる風土醸成と社会システムの構築(ダイバーシティ経営の推進、次世代・女性のエンパワーメント等)
 - 25 あらゆる人々の多様性が受け入れられる基礎インフラの整備
 - 26 社会的課題を地域のつなかりで解決する(共助)コミュニティの構築
 - 27 外国人との共生に向けたグローバルライズ

課題
8



「成長エンジン」と「幸せコミュニティ」を支えるインフラ整備

②

バランス良く配置された九州の各都市の経済・生活機能が効率的かつ最大限に発揮できるよう、地域間連携に資するICT基盤や産学官民連携したデータ流通の促進および交通インフラの整備に取り組む。

- 具体的な活動
- 28 データ駆動型社会の基盤整備
 - 29 域内連携の一括管理による運営効率化
 - 30 九州一体となった空港施策の実現を可能にするためのプラットフォームの設置と国際金融都市に相応しい国際路線の充実
 - 31 高規格幹線道路網の整備促進と下関北九州道路の事業化

課題
9



分散型社会の一翼を担う自立型広域経済圏モデルの構築

②

人口減少・高齢化が加速している中でも地域経済・コミュニティを維持できるよう、強みである広域連携力を活かして、9県が自立しつつも一体となって地域活性化に取り組み連携モデルを構築する。

- 具体的な活動
- 32 分散型社会の実現に不可欠な広域行政の枠組み構築
 - 33 各地域の強みを活かした多様なビジネス環境の整備

課題
10



安心安全を確保する防災レジリエンス・バックアップ機能強化

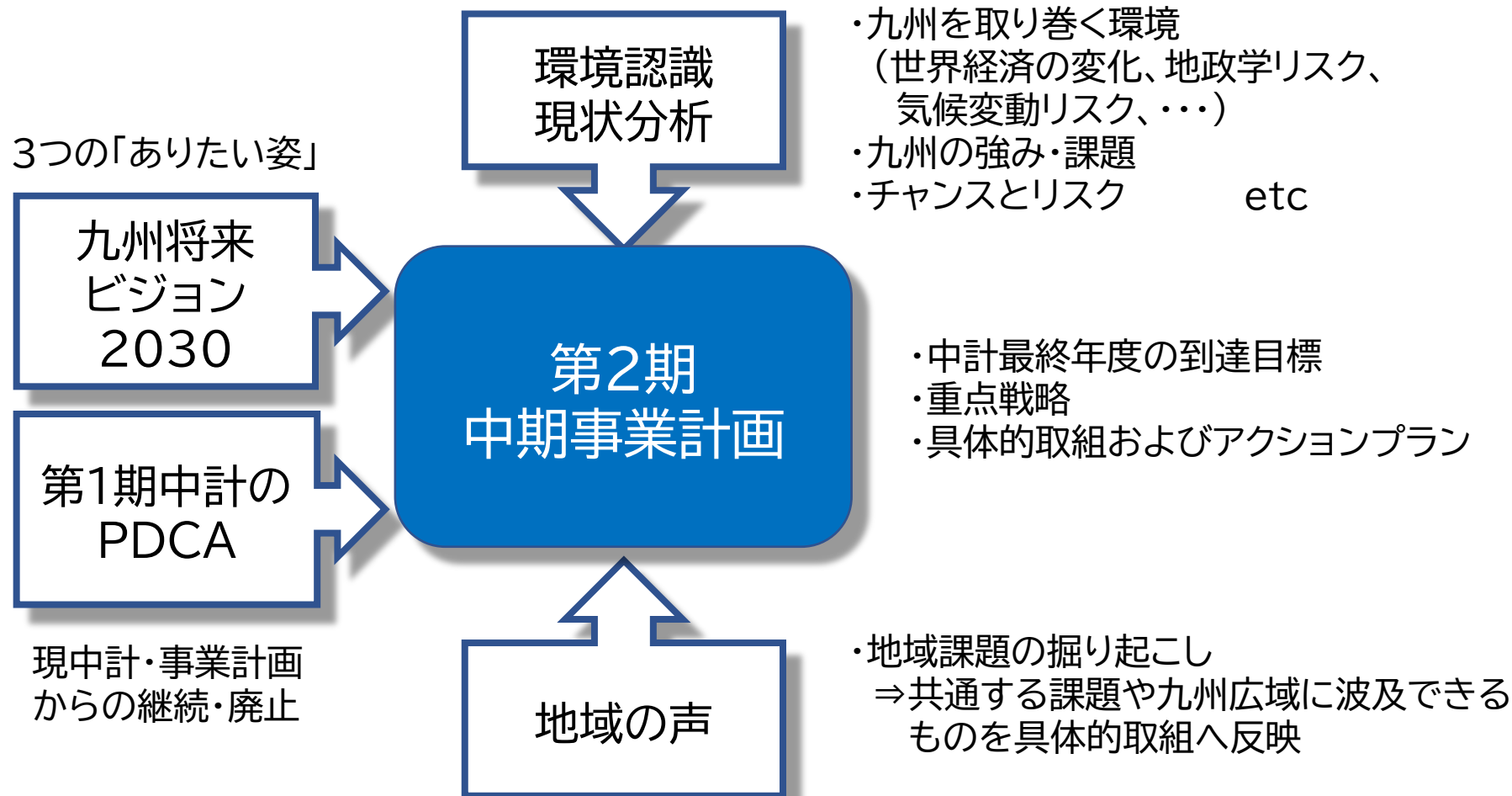
②

異常気象や巨大地震発生などのリスクが年々高まる中、住民が安心して生活できるよう防災レジリエンス(予測力・予防力・対応力)を高めるとともに、首都圏での災害発生時のバックアップ機能構築にも取り組む。

- 具体的な活動
- 34 強靱な防災・減災・感染症対策機能を有する地域の実現と国家バックアップ機能の構築(住民の安心・安全)
 - 35 デジタルガバナメントモデル構築

第2期中期事業計画策定にあたって

第2期中計は、九州将来ビジョン2030や第1期中計を踏まえつつ、環境認識・現状分析を行って課題を抽出するとともに、2023年度に改編した委員会・組織を活かして地域課題を反映しながら策定した。



第2期中計の最終年度にありたい姿

I 域内各地域がその特徴を活かして、他地域と相互連携・補完しながら、経済成長している

II 多様な人材が活躍し、地域課題・社会課題の解決に取り組むとともに、新規性を持った取り組みがなされている

III 交通や情報、ハード・ソフトのインフラ整備が進み、複数の分野において広域連携ができている

重点戦略(案)

1. 半導体関連産業を中心とした産業集積支援
(「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けて)
2. 各産業の高度化・持続可能性向上・成長支援
3. 省エネ技術や脱炭素技術の展開と
その取組み支援によるGX推進
4. 産学官連携によるイノベーションエコシステム構築支援
5. アジア地域諸国・世界との連携強化
6. 産学官連携による高度専門人材の育成支援
7. 九州地域の経済・産業活性化による所得・給与向上の取組み
8. 多様性・包摂性ある風土の醸成
9. ハード・ソフト両面のインフラ整備と広域連携施策の推進
10. 地域の暮らしと産業を守る防災・減災機能の高度化支援
11. 九州各地域に共通する課題・九州全域に波及する課題の解決

具体的取組(案)

重点戦略1. 半導体関連産業を中心とした産業集積支援 (「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けて)

【具体的取組】

1-1 九州地域戦略会議と連携した「新生シリコンアイランド九州」 の実現

- 九州地域戦略会議にて設置する産官学による協議の場において、「新生シリコンアイランド九州」実現のための全体像を描き、課題を整理
- 課題解決に向けた産官学の役割分担を明確化し、具体的取組みを支援

1-2 半導体関連企業および半導体ユーザー企業の誘致・育成 支援

- 地域委員会・地域参事との協働やMOU締結先等との連携・交流を通じて情報を収集し、半導体関連企業やアプリケーション・AI関連企業等半導体ユーザー企業の誘致活動・育成支援活動を実施

具体的取組(案)

重点戦略2. 各産業の高度化・持続可能性向上・成長支援

【具体的取組】

2-1 九州全域での中小・中堅企業に対するDX支援体制の構築

- 「九州DX推進コンソーシアム」との協働による中小・中堅企業のDX実装支援の継続実施
- 各県と連携し、DX支援体制を構築
- シンポジウムや相談会等の開催を通じ、DX推進に係る啓発活動を実施

2-2 食品の輸出拡大に向けた官民共同プロモーションによる各種輸出フェア等の連携実施

- 知事会(輸出分科会)主催の海外プロモーションとの協働
- 食の輸出推進チーム(輸出支援7団体)の連携、役割分担再編成による機能強化
- 九州の食輸出協議会と各県との共同プロモーションによる九州フェア実施

具体的取組(案)

2-3 農業の持続的成長に向けた多様な担い手の確保と生産性向上支援

- 域外企業の農業参入促進
(経団連、自治体と連携しての九州への誘致)
- 地域企業による地域農業への人的支援、副業認可、農業参入モデル作り
(JA・農林中金・自治体と、企業研修、援農アプリを切り口に参入支援)
- 中山間地のスマート農業モデル構築と、九州各県への展開による営農支援
(農研機構、自治体と、九州の中山間地農業存続の方向性提示)

2-4 中大規模木造建築物の普及による林業活性化とCO2削減への貢献

- 九州各県と連携した木材サプライチェーンの構築
- 木材サプライチェーンを活用した木造ビル・建造物木質化の推進

具体的取組(案)

重点戦略3. 省エネ技術や脱炭素技術の展開と その取組み支援によるGX推進

【具体的取組】

3-1 省エネ・脱炭素の早期実現に向けた更なる意識醸成

- 省エネ・脱炭素に関する講演会の実施
- 水素・電化・メタネーションガスなど脱炭素技術に関する情報発信

3-2 地域脱炭素達成のための省エネ・脱炭素技術実装支援

- 脱炭素経営の先進的取組企業への視察会の実施
- 九州商工会議所連合会等との連携による中小企業への取組支援
- 省エネ・脱炭素技術を保有する企業と自治体のマッチングイベントの開催
- 脱炭素先行地域の取組の水平展開

具体的取組(案)

3-3 GX推進戦略に基づく取組の実施

- ESG投融资の拡大によるカーボンニュートラルの推進
- 再エネの主力電源化(洋上風力等)に向けた取組支援
- 安全性の確保を大前提とした、次世代革新炉への建て替えや運転期間延長を含めた原子力の最大限活用に向けた取組支援
- サーキュラーエコノミーに関する調査・研究、情報発信
- カーボンプライシングに関する情報発信

具体的取組(案)

重点戦略4. 産学官連携による イノベーションエコシステム構築支援

【具体的取組】

4-1 九州・大学発ベンチャー振興会議・九州ベンチャーマーケット(KVM)等との連携による九州発スタートアップの魅力発信と支援

- 九州発スタートアップの九州への定着を目的とした、九州域外からの資金調達支援
- 「九州・大学発ベンチャー振興会議」や「九州・山口ベンチャーマーケット」等との連携による域外への九州発スタートアップの魅力の発信
- ベンチャーキャピタルや投資ファンド等との連携支援

具体的取組(案)

重点戦略5. アジア地域諸国・世界との連携強化

【具体的取組】

5-1 MOU締結先の企業と九経連会員企業との交流機会の提供

- 会員アンケートやMOU締結先との情報交換等を基に、相手国・テーマを選定し、経済交流を促進(台湾等)
- 九州プロモーションセンターの継続的PRと利活用促進
- MOU締結先との関係維持・構築、MOU活用施策の検討・実施、ミッション団の派遣等

5-2 他団体と連携したMICE等誘致支援

- World One Health Congress(2028年開催)他、他団体と連携したMICE誘致支援

具体的取組(案)

重点戦略6. 産学官連携による高度専門人材の育成支援

【具体的取組】

6-1 先導的ICT人材育成事業(インターンシップ)の推進・拡大

- ICT人材育成インターンシップの実施
- 実施エリア拡大、参加企業・参加学生の拡大、実施スキームの確立によるインターンシップ事業の拡大

具体的取組(案)

重点戦略7. 九州地域の経済・産業活性化による 所得・給与向上の取組み

【具体的取組】

7-1 適正な価格転嫁による成長と分配の好循環の実現

- 賃上げ実施中小企業に対する支援策についての九州地域戦略会議への提案
- 適正な価格転嫁と賃上げに関する呼びかけ(他団体との連携)

具体的取組(案)

重点戦略8. 多様性・包摂性ある風土の醸成

【具体的取組】

8-1 ジェンダー主流化の取組

- 「WE-Nextの会」の事業プロジェクト「WE-Net福岡」との連携(「WE-Net福岡」修了生の本会事業への参画、「WE-Net福岡」の企画運営・規模拡大)
- 法整備に関する提言の実施

具体的取組(案)

重点戦略9. ハード・ソフト両面のインフラ整備と 広域連携施策の推進

【具体的取組】

9-1 インフラ整備の事業化および事業の早期実現に向けた要望活動

- 地域の産業振興を目的として、基板となるインフラ整備の強力な推進のため、事業化および事業の早期実現に向けた活動(機運醸成・促進大会開催・要望活動)を実施

9-2 オープンデータのデータ連携プラットフォーム構築とユースケースの実装

- デジタルの力を最大限活用して地域住民の豊かな暮らしを実現する、データ連携プラットフォームの構築
- オープンデータの広域連携によるユースケースの創出および実装

具体的取組(案)

9-3 デジタル認証IDの構築とデータ連携プラットフォームを活用したパーソナルサービスの実装

- パーソナルデータ活用を実現する、デジタル認証IDの構築
- パーソナルデータの広域連携によるユースケースの創出および実装

9-4 九州MaaSの推進

- 行政・交通事業者等との連携により九州MaaSの実行組織を設置し、サービスを開始
- サービスコンテンツ・プロモーション・データ利活用について検討・実施
- 参画事業者の拡大
- インバウンドの利用・消費拡大に向けた事業推進
- 新しいモビリティ(自動運転等)の導入推進

具体的取組(案)

重点戦略10. 地域の暮らしと産業を守る防災・減災機能の 高度化支援

【具体的取組】

10-1 防災DXの官民共創(災害対策高度化支援、防災対策サービスの官民共創、広域連携の仕組みづくり)

- 災害情報活用プラットフォームを活用した広域連携の実証・実装
- 雷による瞬低・瞬停リスク低減のための落雷予測技術の実証・実装
- 九州防災DXタスクフォース会員企業のリソースを活用したサービスの実証・実装

具体的取組(案)

重点戦略11. 九州各地域に共通する課題・九州全域に波及する課題の解決

【具体的取組】

11-1 「ツール・ド・九州」の開催とそれを活かした地域活性化

- ツール・ド・九州の継続的開催調整、ボランティア募集等運営サポート
- 産学官民が連携した地域活性化施策の実施

11-2 地域に根差した連携事業(産学官民協働)の展開

- 人材確保、関係人口拡大
(人材共有モデルの検討・実施、若者の地元定着、外国人材の確保 等)
- 地域資源活用モデル構築(関門連携、九国博活用、バイオ燃料精製実証実験 等)